

# 飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

発行者：飯豊連峰保全連絡会

## ■平成 26 年度 合同保全作業の報告について

今年度の合同保全作業は平成 26 年 8 月 30 日（土）、飯豊連峰の梶川尾根にて実施しました。梶川尾根での合同保全作業は、平成 18 年の実証試験より数えて 6 回目の作業となりました。

### 【実施スケジュール】

8 月 30 日（土） 天候：曇り後晴れ（下山途中雨） 参加者 49 名（19 団体）

- 4:00 天狗平ロッジ集合（点呼、作業内容等確認）
- 4:30 登山開始  
作業地着次第、班別に作業開始（途中休憩昼食）
- 12:30 作業ふりかえり（A 班・B 班別に実施）
- 13:30 下山開始
- 16:30 天狗平ロッジ着、懇親会



A 班集合写真→

### 【作業内容】

作業箇所は事前調査ならびに保全技術講習会にて検討された、梶川峰上部と五郎清水下部に、大きく 2 班に分かれて実施しました。

今回の新たな取り組みとして技術部会メンバーらを対象とした保全技術講習会にて、事前に作業箇所別の施工計画図を作成しました。それら成果物をもとに、事前の荷上げ資材の種類・量の決定、当日の班別の資材・工具分けを行い、技術部会メンバーらが班長となり作業にあたりました。作業内容の詳細は以下のとおりです。

### ●A 班：梶川峰上部（標高 1750～1800m 周辺）

【状況】 偽高山帯で登山道のガリー（降雨や流水によりできた溝）侵食や拡幅等によって荒廃している箇所です。平成 18 年度実証試験、平成 21、22、24、25 年度に続いての合同保全作業となり、これまでの保全作業の成果が着実に現れています。植生復元のための緑化ネット敷設箇所では、植物の芽生え増加や生長（右写真参照）が確認されています。また、流水速度を落とし土砂流出を防ぐ土留には、順調に土砂の堆積があり、その土砂を他の作業に活用できる段階となっています。



【遠目にも緑の回復が分かる程に】

【作業】 A1 班～A3 班の班別に実施しました。A1 班・A2 班では、これまでの保全作業で施工した土留の手直しや追加設置、黄麻製緑化ネット敷設を中心に作業を行いました。中でも、排水箇所から周辺植生へ土砂が流出し、影響を与えている箇所では、土砂を抑制・活用する対策を考え土留を設置し



【A1 班：緑化ネット敷設】



【A2 班：土留追加設置】

ました。土留には、ヤシ製資材（土のう袋、ネット、繊維）と、土留に堆積した土砂・排水により流出した土砂等を組み合わせました。

A3 班では、ニュースレター第 21 号で紹介しました「ヤシ製ポット」を活用した新工法を実践しました。雨滴等で侵食の進む登山道の壁面に、ヤシ製ポットを埋め込むものです。オーバーハングして崩れ落ちた植物をポットに植え替え、壁面を守るように設置しました。新工法を含め、今後も作業地の状況を見守っていく必要があります。山行で作業地を通行した際には、これら施工地の状況を事務局までお伝えいただければ幸いです。



【A3 班: ヤシ製ポットによる壁面保護法】



【A3 班: 作業のふりかえり】



## ●B 班：五郎清水下部（標高 1300m 周辺）

【状況】樹林帯で登山道の水路化、段差部の洗掘によって侵食荒廃が進行しています。箇所によっては段差が大きくなり、安全な歩行に支障をきたす程となっています。

【作業】B1 班～B3 班の 3 班に分かれましたが、各班作業地が近いこともあり、3 班協力しながらの作業となりました。現地資材（風倒木や支障木等）と事前荷上げ資材（ヤシ製土のう袋・繊維、木杭等）を組み合わせ、侵食抑制や歩行性改善のため、土留や歩行路の固定等を行いました。



【B1 班: 土留】



【B2 班: 歩行路】



【B3 班: 土留・歩行路】

作業終了後には A 班・B 班別にふりかえりの時間を設け、各班班長より施工方法や意図を説明し、意見交換など共有を図りました。また、技術部会の菊池氏（山形大学農学部）と川端氏（(株)ニュージェック）より講評をいただき、適宜手直しも行いました。

今回の作業では、幹事の井上氏（小国山岳会）に統括リーダーとしての指揮監督等、子細に渡ってご尽力いただきました。また、小国山岳会の皆様には、天狗平ロッジでの宿泊（前泊、後泊）や懇親会について様々にご対応いただきました。当日の作業のみならず、事前の資材荷上げ、下山後の食事当番等、今年も大勢の方々にご協力いただきました。今回の作業に関わっていただいた飯豊連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、地域関係者の皆様には、厚く御礼申し上げます。

### 【参考ホームページ】

・環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料

（飯豊連峰保全連絡会の会則やニュースレター等）

<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>

・東北地区アクティブレンジャー日記

<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

### 【発行者】

飯豊連峰保全連絡会（事務局）羽黒自然保護官事務所（柘植、白銀）

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777、080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail: RO-HAGURO@env.go.jp